

ふじくぼのくさむら
藤久保の平地林

所在地 三芳町藤久保地内

データ H28取得3.0ha

(公財)さいたま緑のトラスト協会HP



- 交通**
- ①東武東上線みずほ台駅西口からライフバス三芳役場経由鶴瀬駅行き約7分「三芳役場」下車約0.2km(徒歩約3分)
 - ②東武東上線鶴瀬駅西口からライフバス三芳役場経由ふじみ野駅西口行き約5分、又は上富経由ふじみ野駅西口行き約8分「三芳役場」下車約0.2km(徒歩約3分)
- 三芳町役場駐車場利用可

▲第26回コンクール
優秀賞(三兄弟の遊び路)

川越街道に近く、周辺開発が進んでいる中で残されたコナラ・クヌギを中心とする大規模平地林です。江戸時代初期に川越藩主 松平信綱が川越街道を整備する際に開拓・植林され、現在まで落葉堆肥を使った循環型農法が行われてきました。



周辺情報

上富いも街道

風情あるケヤキ並木通り(通称:いも街道)には、町の特産品のサツマイモをはじめとしたみよし野菜の直売所や飲食店が立ち並んでいます。



竹間沢こぶしの里

春には白い可憐なこぶしの花、初夏にはホタルが飛び交うこぶしの里。貴重な湧水も流れクールスポットにもなっています。





1

保全活動

毎月第2・4水曜日、
第3日曜日
9:00~12:00

おすすめ散策コース(約1.0km)

散策路入口→オープンスペース
→あずま屋→散策路入口



◀第20回コンクール
佳作「夕刻の輝き」

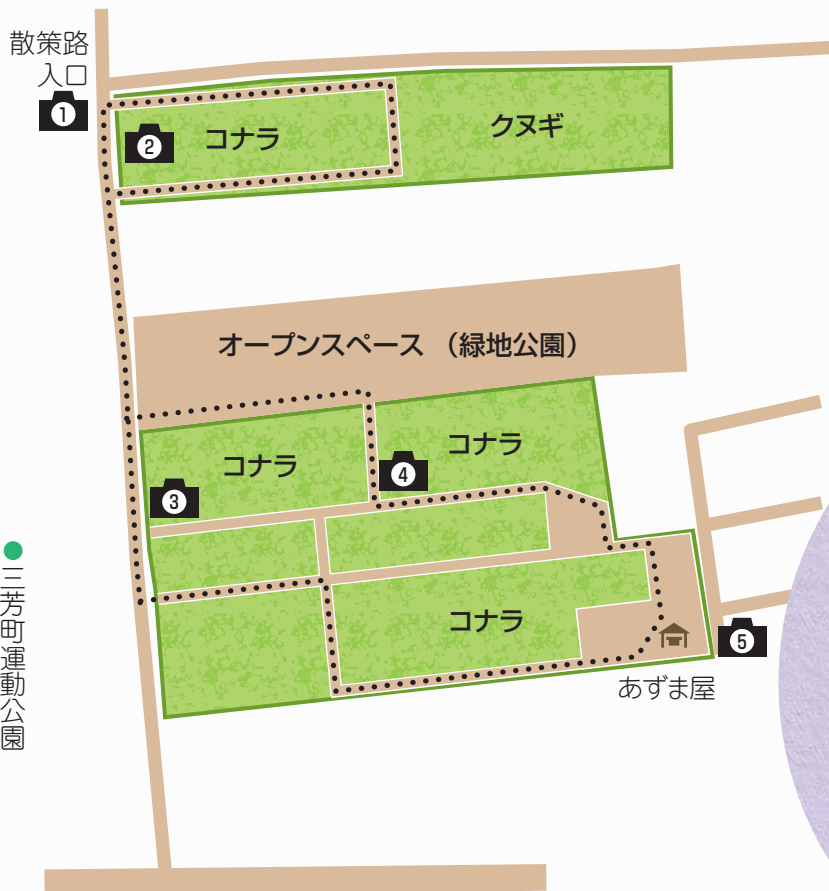


4



2

●三芳町役場



●三芳町運動公園



5



3

江戸時代に新田開発された際に、屋敷地、耕作地とともに平地林も作られたんだ。平地林にはコナラ、クヌギなどを植え、燃料用の薪や農具の材料として利用したほか、落葉や下草は堆肥の原料として活用されたよ。この地域で実践されてきた循環型農法は、平地林の落葉や下草を集め、1年以上かけて堆肥を作り、畑に混入させサツマイモなどの作物を栽培するもので、人と自然が共生する持続可能な農法なんだ。

淑徳大学埼玉キャンパス ●